

2 学年 進路通信 5 月号

「中だるみ」で終わるか、「逆転」を始めるか。

発行日：

2026 年 5 月 26 日

進路指導部

【振り返り & 最新情報】

1. スタディサポート & 中間考査。データが語る「残酷な現実」

スタディサポートの結果が揃いました。また、中間考査お疲れ様でした。偏差値や順位を見て一喜一憂するフェーズはもう終わりです。進路指導部として、君たちに「今の大学入試の残酷なデータ」を突きつけます。

「A 判定だったから、中間が良かったから大丈夫」は、もう通用しない。

現在の大学入試は、国からの「定員厳格化」の影響で合格ラインが非常にシビアです。「直前の模試まで A 判定だった先輩が、当日 1 点の重みに泣いて不合格になる」という事例は、毎年起きています。最後までやり切らなければ、データ上の「A」は何の保証にもなりません。

1. GTZ (学習到達ゾーン) の本当の意味

S1~D までのランクは「今の習慣を続けた場合」の予測値です。A ランクは「合格保証」ではありません。逆に、今 C ランクでも、今日から習慣を変えて逆転した先輩は山ほどいます。

2. 「判定」より「学習習慣」のデータを見よ

スタサプの「スマホ利用時間」「家庭学習時間」を見てください。学力が伸び悩む生徒の多くが、ここで「自己管理の甘さ」の警告データを出しています。

スタディサポートによるアンケートで 2 学年の平均学習時間は以下のようになっています。

平均学習時間	国語	数学	英語
平日	5 分	17 分	17 分
休日	7 分	24 分	26 分

本当に学力を身に着けたいのであれば日頃の学習時間の確保をまず始めましょう！

これからの学習の難易度で考えると、試験 1 週間前だけではどうすることもできません。

3. 苦手分野の「放置=即・不合格」

中間考査で平均点に届かなかった科目がある人。2 年生の授業は 1 年生の 3 倍のスピードで進みます。今直さなければ、夏には授業が「呪文」に聞こえ始めます。

2. 【最新情報】2 年生で勝負が決まる「英検」の圧倒的有利

「3 年生になってから英検を受ければいい」は情報戦での敗北を意味します。今の入試（特に GMARCH や日東駒専レベル）では「英検スコアがそのまま一般入試の得点になる」制度が主流です。

東洋大学・一般入試の英検スコア換算例 (100 点満点換算)

- CSE 2304 以上 (準 1 級合格レベル) ⇒ 本番の英語が「100 点 (満点)」に換算！
- CSE 2150 以上 (2 級高得点レベル) ⇒ 本番の英語が「90 点」に換算！
- CSE 1980 以上 (2 級合格レベル) ⇒ 本番の英語が「80 点」に換算！

2 年生のうちにスコアを稼いでおけば、「3 年生の入試本番、英語を解く前にすでに 90 点持っている」という圧倒的優位に立てます。

【これからの進路行事&アクション】

3. 【警告】「年内入試なら楽」という大いなる勘違い

私立大の約半数が年内入試ですが、これは「一般受験から逃げるための楽な道」ではありません。安易な選択は、後に取り返しのつかない後悔を生みます。

- **総合型選抜（旧 AO）**：書類や面接の準備に膨大な時間を取られます。「不合格になっても心が折れずに一般受験に切り替える」強烈なメンタルと学力が必要です。
- **学校推薦型（指定校）**：「1年から3年1学期までの評定平均」が命。今回の中間考査、そして次の期末考査の結果がそのまま合否に直結します。
- **学校推薦型（公募）**：倍率がつき、普通に不合格者が出ます。小論文や学科対策が必須です。

【受ける「覚悟」はあるか？】 「とりあえず受かったからここでいいや」という専願合格は、一生後悔します。推薦は、「一般受験でもここを受ける！」という強い意志がある人、または「3年間、1日も妥協せずに評定を積み上げた人」だけの切符です。以下は3年生に問うていることです。考えてみましょう！

以下の4つの特徴に、今の自分がどれだけ当てはまるか考えてみてください。

- **明確な目標があるか** 「なぜその大学でなければならないか」を、自分の言葉で具体的に語れますか？ 漠然とした「有名だから」という理由では合格できません。
- **主体的に行動してきたか** 部活動、ボランティア、資格取得など、自ら動いた経験はありますか？ その経験から何を得たかが、書類や面接での最大の武器になります。
- **伝える力（表現力）を磨く覚悟はあるか** 面接や小論文、プレゼンテーションは、自分の考えを「相手に伝える」場です。これらを粘り強く練習し、向上させる意欲が必要です。
- **好奇心旺盛か** 自分が学びたい学問に対して強い興味を持っていますか？ 大学の「アドミッション・ポリシー（求める学生像）」とあなたの好奇心が合致しているかが重要です。

4. 6月・7月の進路ロードマップ

- **6月：期末考査対策スタート** 途中で失敗した人はここが正念場。中間が良かった人は「貯金」を守るのではなく、高得点を上乘せする攻めの勉強を。
- **7月1日～6日：期末考査** 1学期の評価が確定します。指定校・公募を狙う人はコンマ1の評価を削り出す戦いです。 ※今回は土日を挟みます！
- **7月13日（月）：ベネッセ実力テスト（記述）**
全国での自分の「現在地」を知る、一般受験への試金石。
- **7月14日（火）：外部大学説明会** 自分の魂を燃やせる「投資先」を探す偵察の日。
- **7月21日（火）（仮）：進路通信第2号（終業式発行）**

5. ただの「見学」にするな！「前のめり」で挑む大学説明会

パンフレットをもらうだけの「観光客」になってはいけません。以下の質問をブースでぶつける「前のめり」の姿勢が、君の意識を変えます。

【ブースで絶対に聞くべき質問リスト】

1. 「**学び**」：「〇〇学部のゼミでは、具体的にどんなフィールドワークをしますか？」
2. 「**出口**」：「私の志望する〇〇業界への就職実績は？ 御学のサポートの強みは？」
3. 「**リアル**」：「合格する生徒は、高2のこの時期にどんな勉強や活動をしていますか？」
4. 「**空間**」：「（現地に行く場合）自習室の席数は足りているか？ 学生の雰囲気は自分に合うか？」

中間考査が終わった「今」から、次の期末・模試・説明会に向けてアクセルを踏み直しなさい。